

令和6年度 学校経営方針

持続可能な未来を切り拓く子供たちの健やかな成長を願い、前例にとらわれることなく、より良い方向性を判断しながら、教職員の総意と総力、保護者・地域との連携・協働により学校を創り上げる一年とします。

～多摩第三小学校の学校教育目標～

本校では、生きる力としての「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」がバランスよく身に付いた「輝く三小の子」を目指し、以下の目標を設定します。

- かしこく【自ら学び考え、協働して問題を解決する創造力豊かな子供】
- 正しく【互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子供】
- たくましく【心身ともに健康で、人とのかかわりの中で共に生きていく子供】

◎目指す学校像

「あいさついっぱい みんなでつくる 笑顔あふれる 楽しい学校」

～学校・保護者・地域が互いに連携・協働し、子供たちを育てます～

1 自ら学び考え、協働して問題を解決する創造力豊かな子供の育成

見通しをもって主体的に問題解決に取り組み、他者と関わりながら追究する中で、豊かな創造力を育む。

- (1) 子供主体の問題解決を重視した授業の確立
→授業改善の実現に向けた取組、理数教育の充実
- (2) 一人1台タブレット端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の実現
- (3) SDGsを踏まえたESDの実践の質的な向上
生活科、総合的な学習の時間の内容の系統性と充実を図る。→生活・総合発表会につなげる。

2 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子供の育成

児童の自他を大切に作る心や、思いやりの心を育て、望ましい生活習慣と規範意識の確立を図る。

- (1) 日常的な挨拶が確実にできるようにする。
- (2) いじめ防止対策、不登校対策について
いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的に対応する。また、不登校については、不登校総合対策を踏まえ、不登校対策委員会を中心に個に応じた対応する。
→心配なことがあれば、早目に学校までご相談ください。
- (3) 人権意識の向上を図る。 →言葉遣いや呼び名の配慮、多様性の理解と受容

3 心身ともに健康で、人とのかかわりの中で共に生きていく子供の育成

学校行事、異年齢集団活動等の充実を図り、児童のコミュニケーション能力を育て、望ましい人間関係を築くことができる態度を育成する。

(1) 学校行事等の充実

新しい発想や工夫を取り入れながら、さらなる充実を図る。

→児童の主体的な活動を促す。児童の発想を生かす。児童自らの意思決定を促す場面とする。

(2) 異年齢集団活動（はちのこ班活動）の充実

(3) ロング昼休みや外遊び、体力向上旬間の充実

4 地域とともにある学校をつくる

学校に関わる大人同士が、「どのように子供を育てたいのか」「何を実現していくのか」というビジョンを共有し、学校と地域が連携、協働しながら、組織的、継続的な仕組みを構築する。

(1) 学校公開土曜日の実施により、教育活動への理解を深めるとともに、子供たちの成長を共有する機会とする。

→セーフティ教室、情報モラル教育、道徳授業地区公開講座、生活・総合発表会等

(2) 学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA 等との積極的な連携

(3) 地域行事への積極的な参加、地域にある関係諸機関、中学校、幼稚園、保育園等との連携

※お子さんについてご心配なことがあるときは、遠慮なく学校にご相談ください。担任のみならず、学年、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等、必要に応じてお声かけください。